

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | ロバート・オウエンの思想①

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

ロバート・オウエンの思想①

反資本主義と聞くととにかく共産主義的な臭いがするが、歴史を学ぶと資本主義との闘いは共産主義だけにとどまらず、実に様々であることが分かる。

そして壮大な共産主義の実験もスターリンの悪政に代表されるように、資本主義国家に負けている。

だから資本主義が暴走し、弱肉強食の現在社会がまかりとおっているのだろう。

そして現在、多くの人々はその現状に抵抗することなく追従している。

政治に対しての、無気力・無関心はその表れでもある。

世界中がグローバル化し、新自由主義がいまだ跋扈している。

抵抗勢力であるべき労働組合も、運動全体にかかわった指導者たちの官僚化や墮落によって、その力を急速に失った。

これからの運動をどう構築していくべきか、そのひとつにロバート・オウエンの説いた「協同組合運動」の現代的再生があると、私は考えている。

しかし、その運動を現代に蘇えさせるための方策がなかなか見つからない。

伝統的左翼 闘いの文化	新しい反資本主義 創造の文化
大義のための 「犠牲」を評価する	充実して幸福な人生を 築くことを大切にする
個人の利益は 集団的な利益に吸収される	個人的な利益は集団的な利益に 含まれ、受け入れられる
疑いやためらいは罰せられる	「知らない」ことを生活の 基本として認める
私生活はほったらかし	私生活は重要である
弱さ、間違いに対する不寛容	人間誰しもあやまちをおかす
結果を考えない勇気を評価する	細心さをともなった大胆さを評価
死者を「英雄」や「犠牲者」 として祀り上げる	生命をたたえ、日々の暮らしに根ざした 闘いを実践する人々を礼賛する
一般人の世界から切り離された 闘士たち	社会にとけこむ闘士たち
厳格な規律	状況に応じて合意する
「怒れる」闘士たち	「陽気な」闘士たち

この対比表は、エセキエル・アダモフスキというブエノスアイレス生まれの活動家が書いた本からの抜粋だ。

資本主義について彼はこう語っている。

「人々が抑圧から逃れ、自分自身できめた規則にしたがって生きる新しいやり方を見つけるたびに、資本主義の権力も、人々を従わせる新しい方法を求めてテクノロジーや生産方式、政治組織などを変えていく」

たしかに資本主義社会の変革エネルギーは凄まじいものがある。

それに比べて、反資本主義の運動はあまり変わり映えない。

協同組合運動も同様である。

続いて彼は新しい闘いについて…

「自律空間」「水平な組織と運動」「ネットワーク状の構造」「多様性」「状況にあわせた政策」「闘争のグローバル化」「直接行動と市民的不服従」そして「創造性と喜び」というキーワードを使っている。

格差拡大、企業不祥事、自然破壊…等々の克服は、相互扶助、共存共栄の協同組合運動の発展に託したい。

そのために、ロバート・オウエンの思想や協同組合運動の歴史を訪ねてみたい。

(つづく)

傾聴

語り部スキル

▶ キーワード検索はこちら

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

▶ サイトマップ ▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護の取組みについて

▲ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.